

オルガノ株式会社

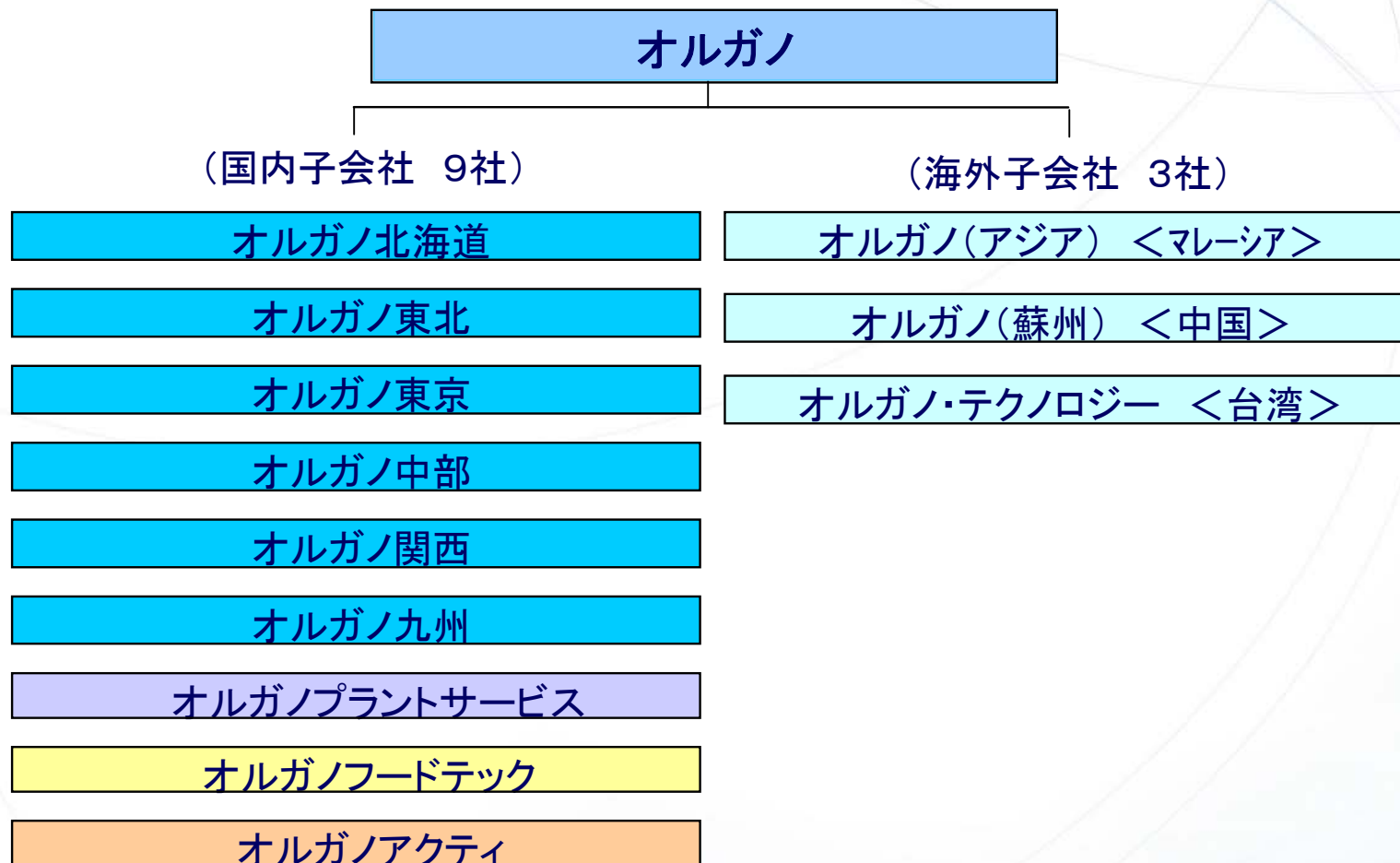
2011年3月期決算説明会

(2011年5月17日 16:00~)

2011年3月期 決算報告 及び 2012年3月期 計画

代表取締役兼専務執行役員
鬼頭 和夫

連結対象グループ会社



東日本大震災の影響

<直接的な被害>

人的被害はなかったが、ユニット組立工場の「いわき工場」とイオン交換樹脂精製工場である「つくば工場」に軽微な被害。現在は完全復旧し、通常操業。

事業所	損害	操業状況
いわき工場	シャッターなど建物に軽微な損傷	物流など産業インフラ停滞により操業停止したが、回復により4/6から操業再開
つくば工場	ユーティリティー配管などに軽微な損傷	損傷設備を補修し、3/22から操業再開

<2011年3月期業績への影響>

東日本顧客の納入延期、操業停止により受注、売上が減少したが業績への影響は比較的軽微。

セグメントの見直しについて

2011年3月期より国内外の営業/生産体制の再編成と合わせ、セグメントの組換を実施

従来「水処理装置／薬品」で区分していた売上を「水処理エンジ／機能商品」のセグメントに変更

水処理エンジ事業	大型水処理設備 納入設備にかかる維持管理業務
機能商品事業	標準型水処理装置 各種水処理薬品・食品添加剤

2011年3月期 決算概況

- ◎ 中期経営計画の初年度計画を達成。
- ◎ 水処理エンジニアリング事業および機能商品事業が共に増収増益。
 - ◆水処理エンジニアリング事業：台湾の大型電子産業案件の完成や国内産業全般のメンテナンスの売上が好調に推移
 - ◆機能商品事業：産業全般の生産水準回復による顧客設備の稼働率上昇により、イオン交換樹脂等の売上が好調に推移
- ◎ 受注高について、特に海外では台湾や東南アジアで電子産業案件が増加、国内では一般産業案件の受注が増加し、前期比12.4%の増加。

2011年3月期実績

(単位:億円)

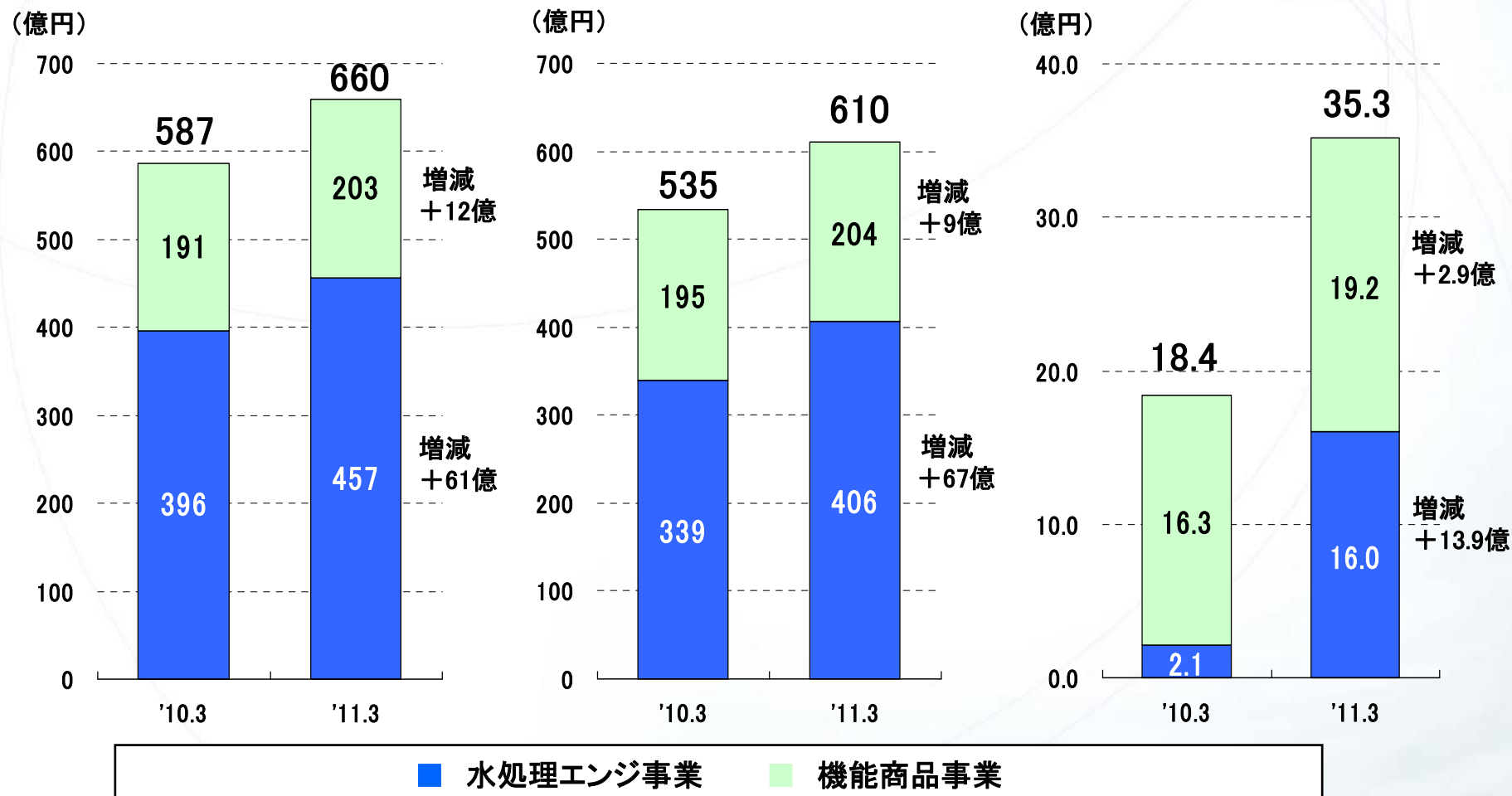
	10.3 実績	11.3 計画	11.3 実績	前期差	計画差
受注高	587	600	660	+ 73	+ 60
売上高	535	600	610	+ 75	+ 10
売上総利益 (%)	139 (26.0%)	145 (24.2%)	159 (26.1%)	+ 20 +0.1%	+ 14 +1.9%
販管費	120	120	124	+ 4	+ 4
営業利益	18	25	35	+ 17	+ 10
経常利益	15	23	33	+ 18	+ 10
当期純利益	6	13	18	+ 12	+ 5

2011年3月期実績(セグメント別)

受注高

売上高

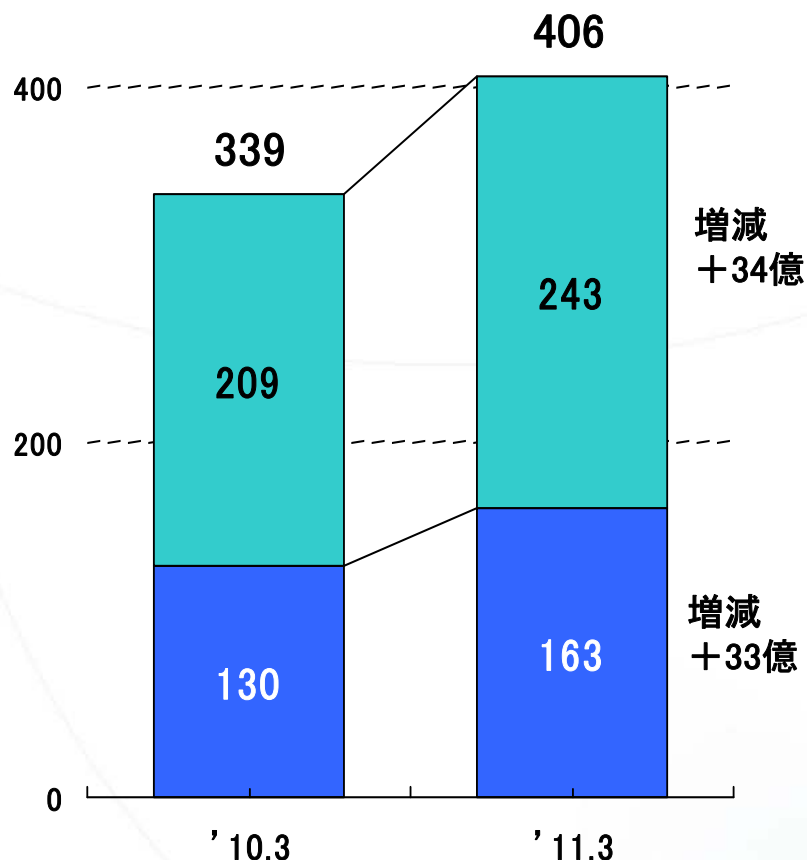
営業利益



部門・顧客別売上高(水処理エンジニアリング事業)

部門別売上高

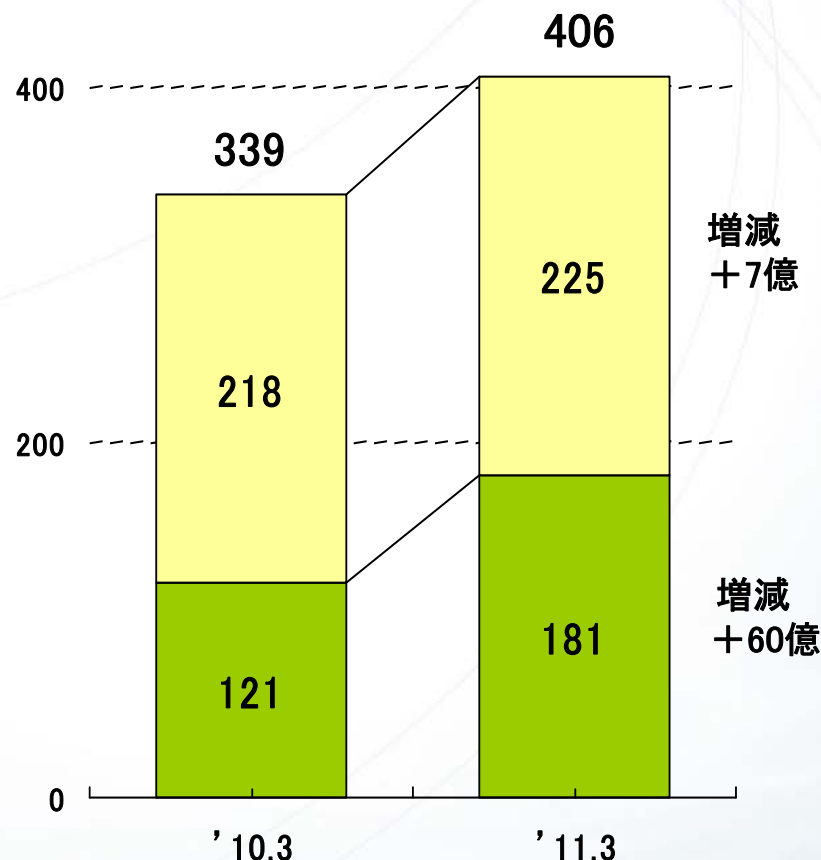
(億円)



■ プラント ■ ソリューション

顧客別売上高

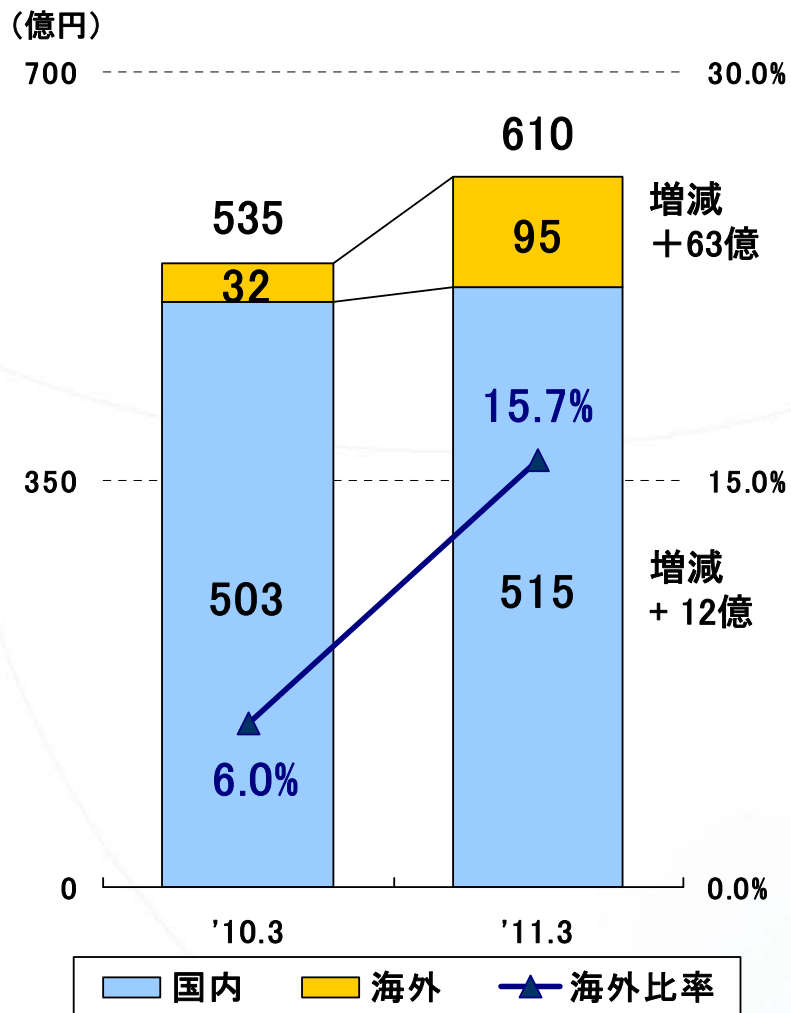
(億円)



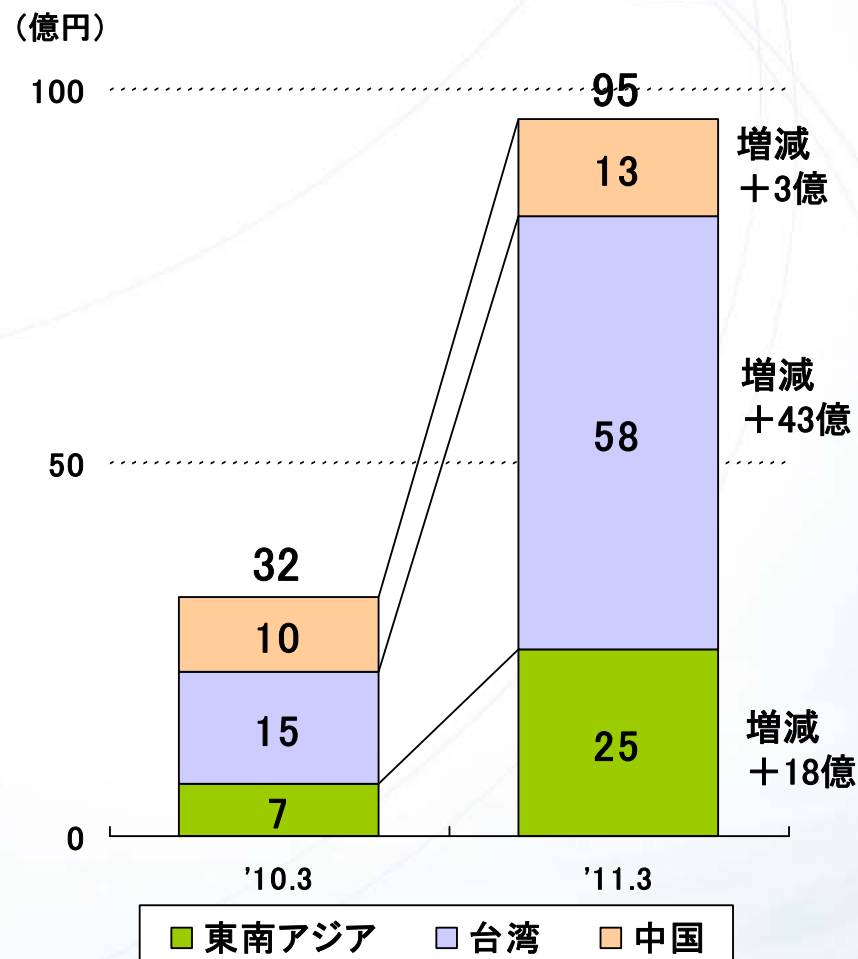
■ 電子産業 ■ 一般産業

地域別売上高

国内・海外別売上高

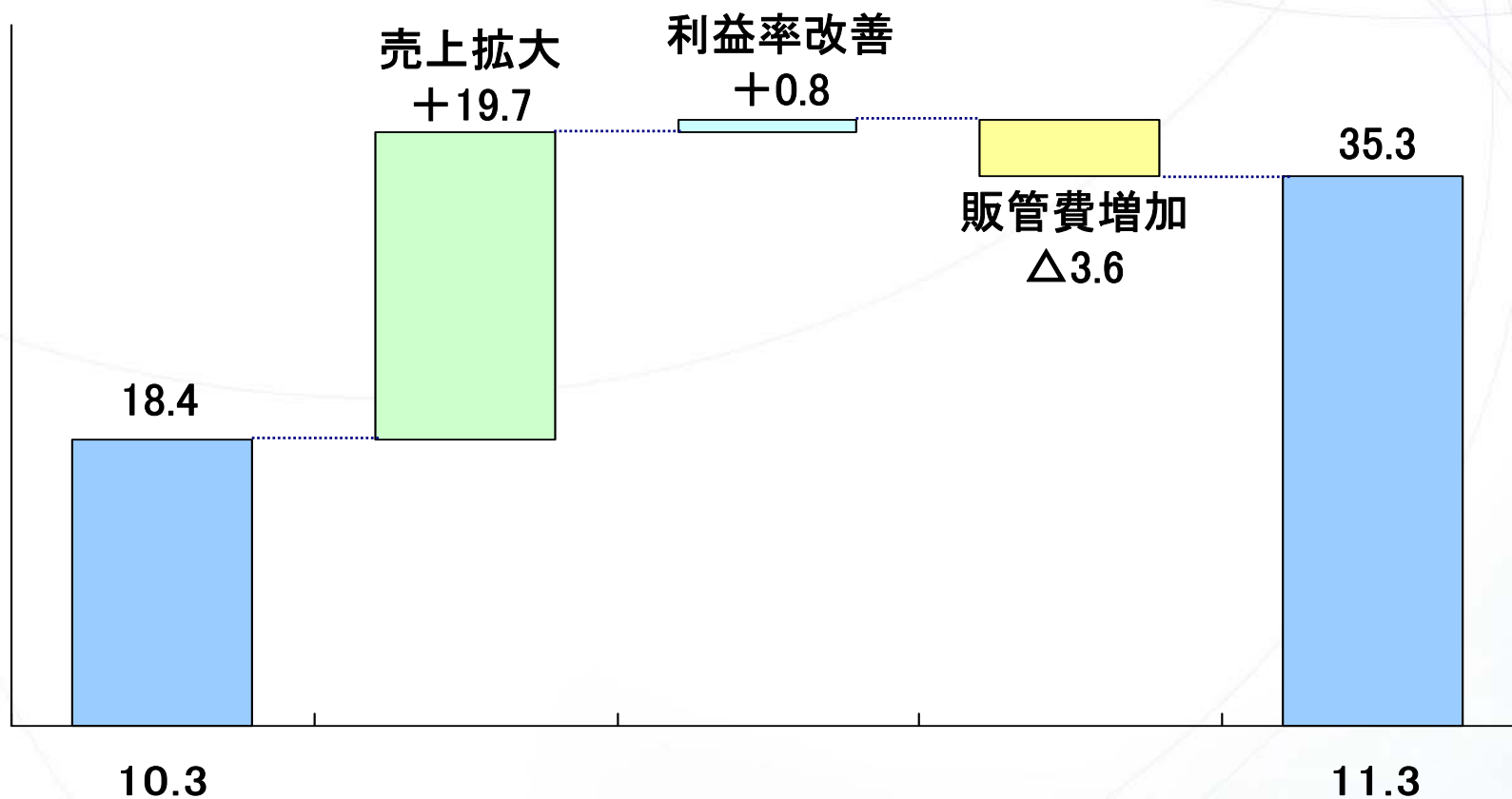


海外地域別売上高



2011年3月期営業利益分析(要因別)

(単位:億円)



2012年3月期計画

【見通し】

- ◎海外はアジアの需要が高水準継続。
- ◎国内は産業全般で大型投資が引き続き低水準。中・小型規模（純水／排水）およびソリューション案件は回復基調が続く。
- ◎東日本大震災の影響を一部織り込むものの、現時点では不明確なところもあり。

【取り組み】

- ◎中・小型規模（純水／排水）およびソリューション案件への営業体制を強化し、売上拡大を図る。
- ◎プラント部門の受注案件に対し、原材料高が見込まれる中、一層のコストダウンを施し、利益拡大を図る。
- ◎上期は震災の影響もあり、ほぼ前期並みの推移を予想するも、下期は回復し、通期では売上高 670億円、営業利益 40億円（増収増益）を見込む。

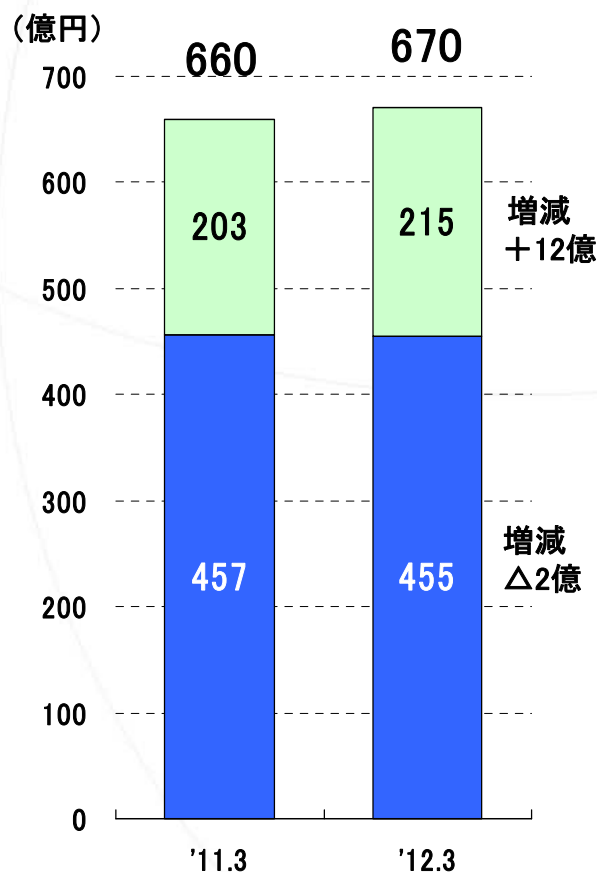
2012年3月期計画

(単位:億円)

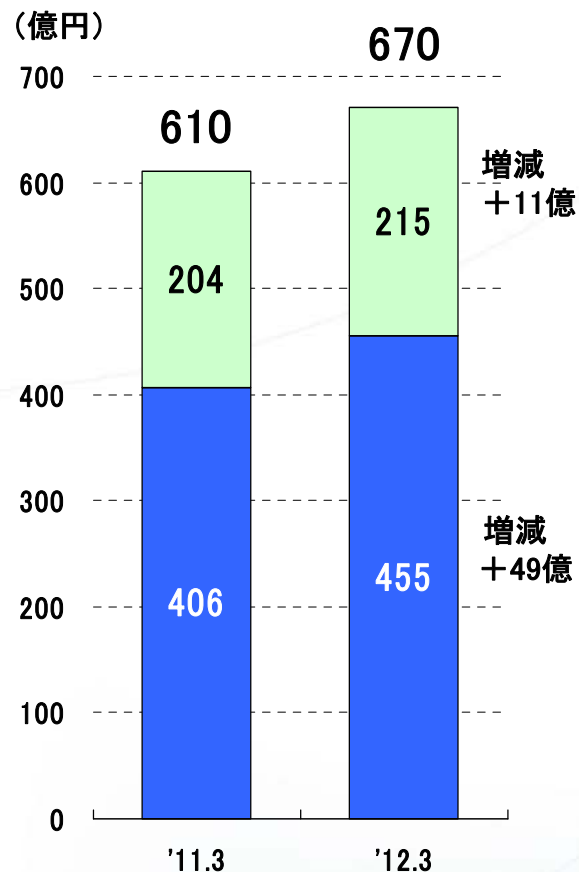
	11.3(実績)		12.3(計画)		上期 比較	通期 比較
	上期	通期	上期	通期		
受注高	327	660	300	670	△ 27	+ 10
売上高	257	610	270	670	+ 13	+ 60
売上総利益 (%)	69 (27.1%)	159 (26.1%)	71 (26.3%)	166 (24.8%)	+ 2 -0.8%	+ 7 -1.3%
販管費	60	124	61	126	+ 1	+ 2
営業利益	8	35	10	40	+ 2	+ 5
経常利益 (%)	7 (2.9%)	33 (5.5%)	9 (3.3%)	38 (5.7%)	+ 2 +0.4%	+ 5 +0.2%
当期純利益	3	18	5	21	+ 2	+ 3

2012年3月期計画(セグメント別)

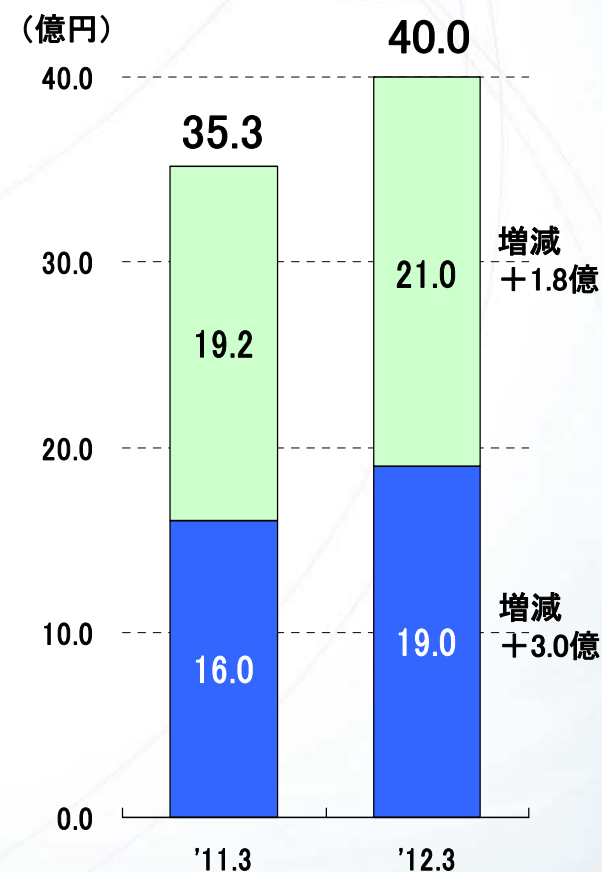
受注高



売上高



営業利益

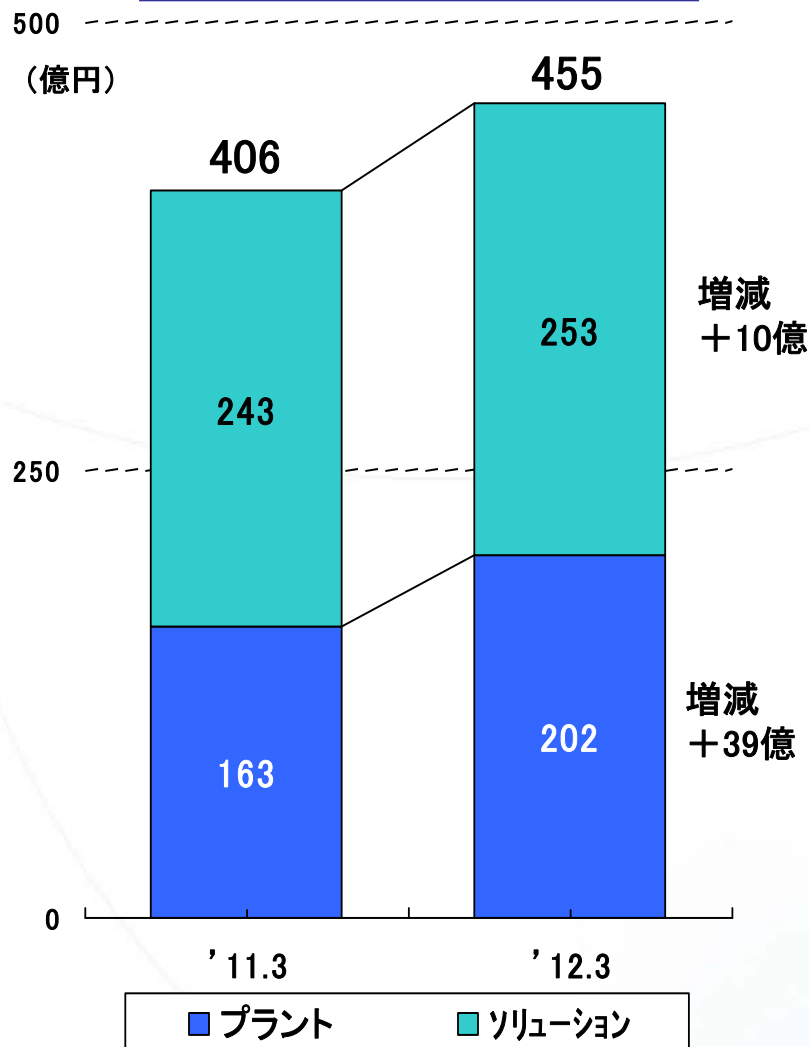


■ 水処理エンジ事業

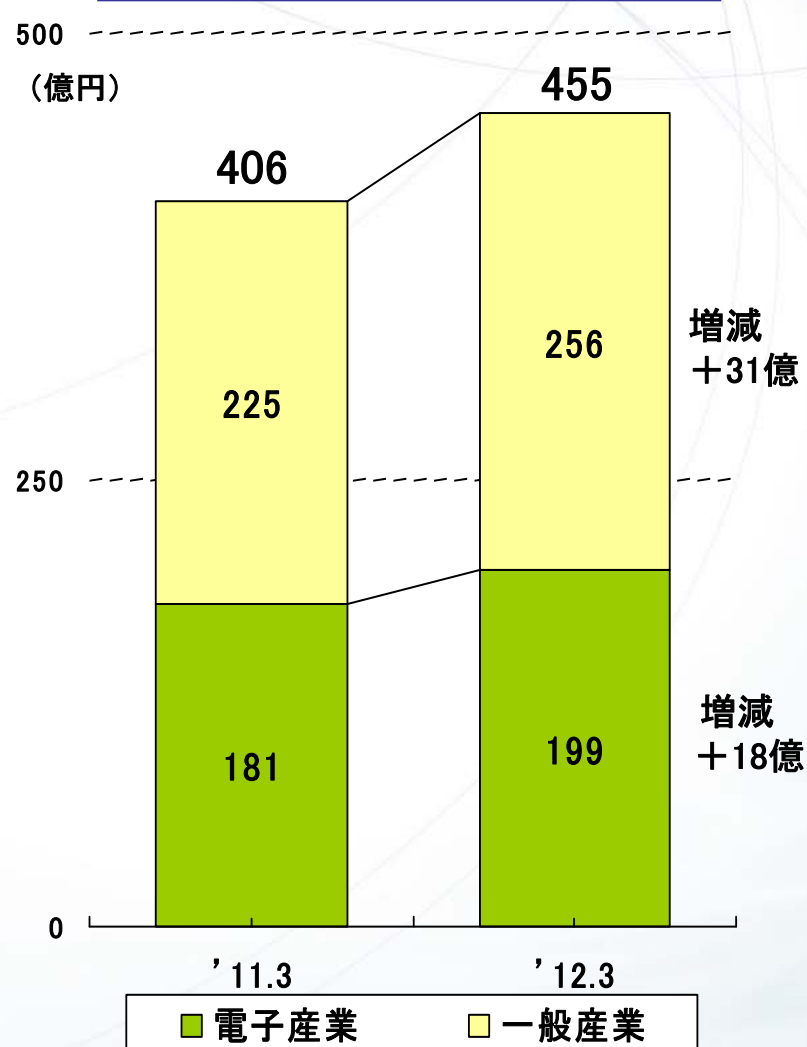
■ 機能商品事業

部門・顧客別売上高(水処理エンジニアリング事業)

部門別売上高

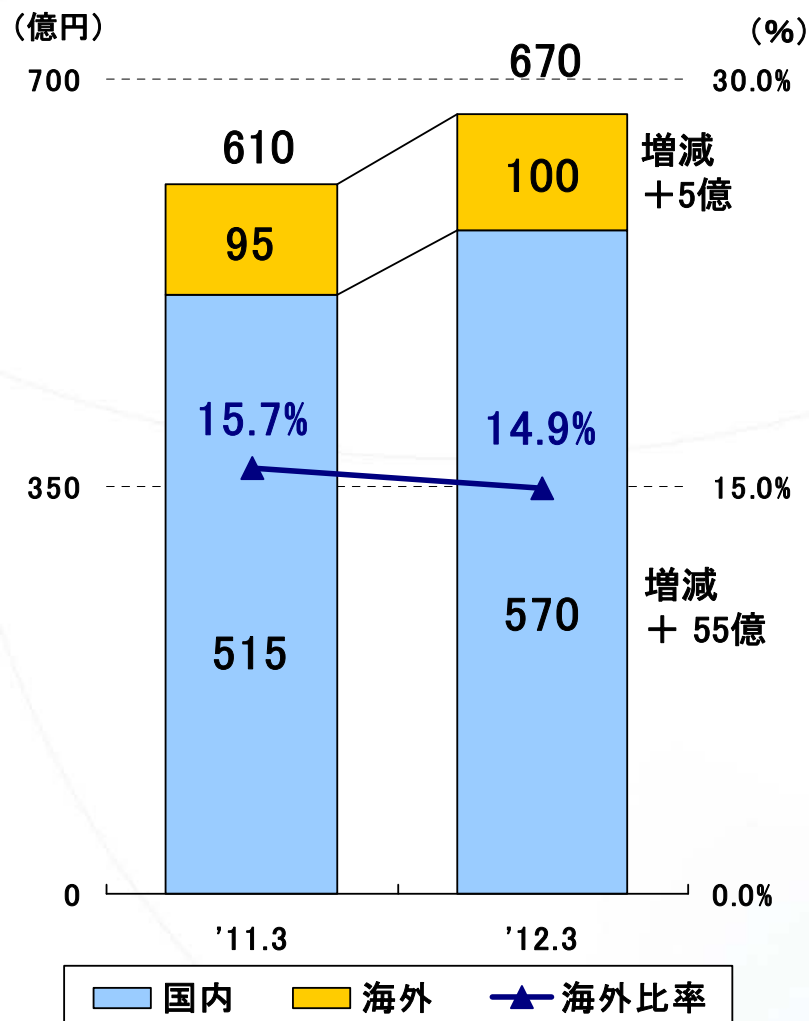


顧客別売上高

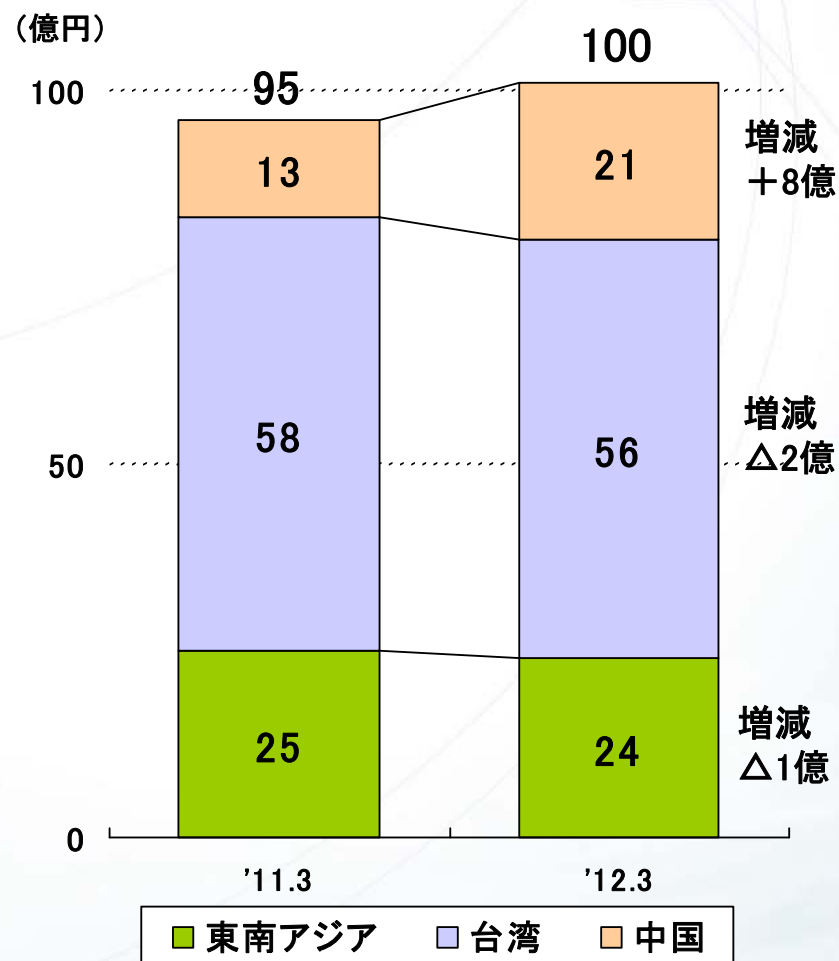


地域別売上高

国内・海外別売上高

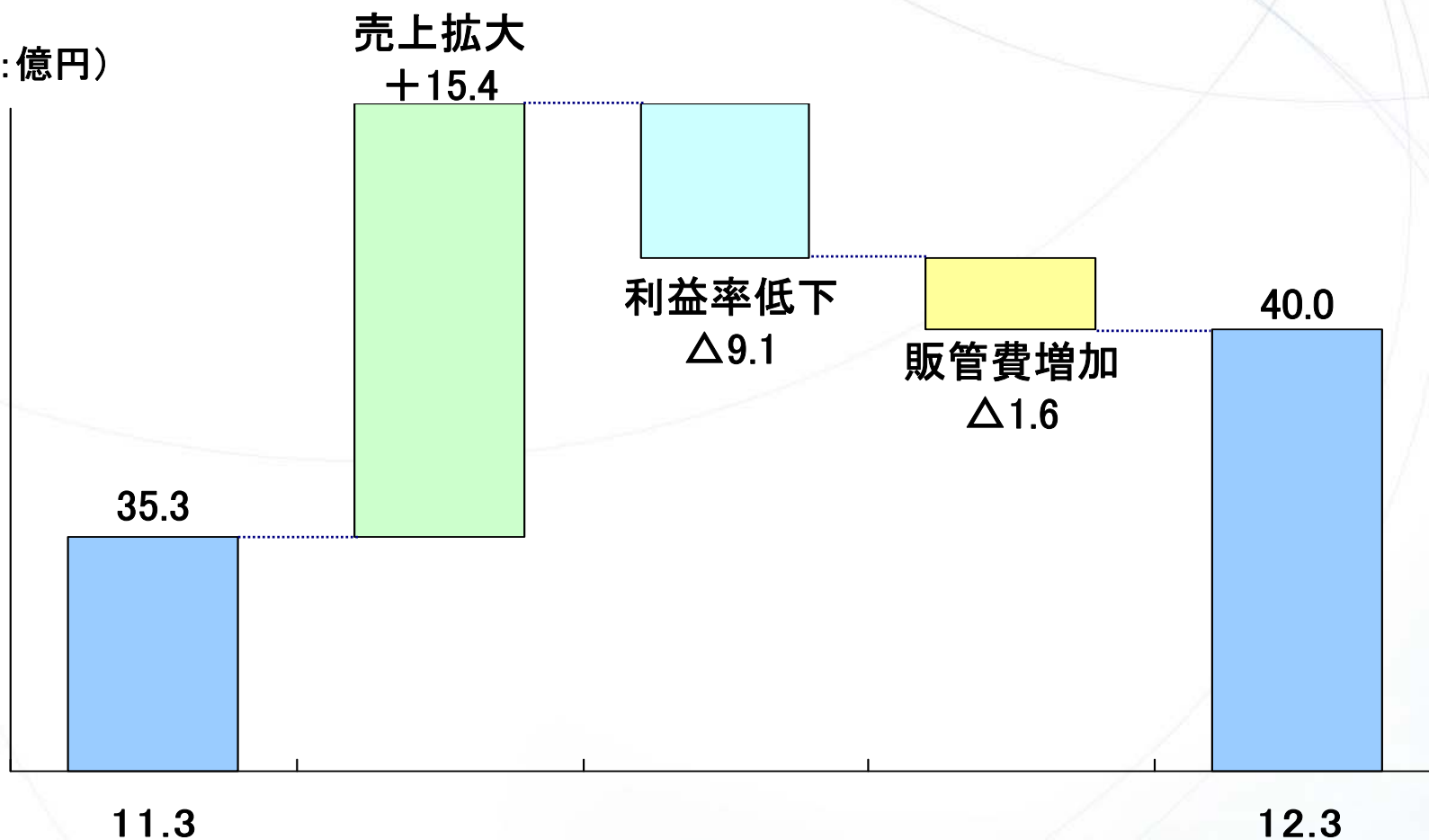


海外地域別売上高

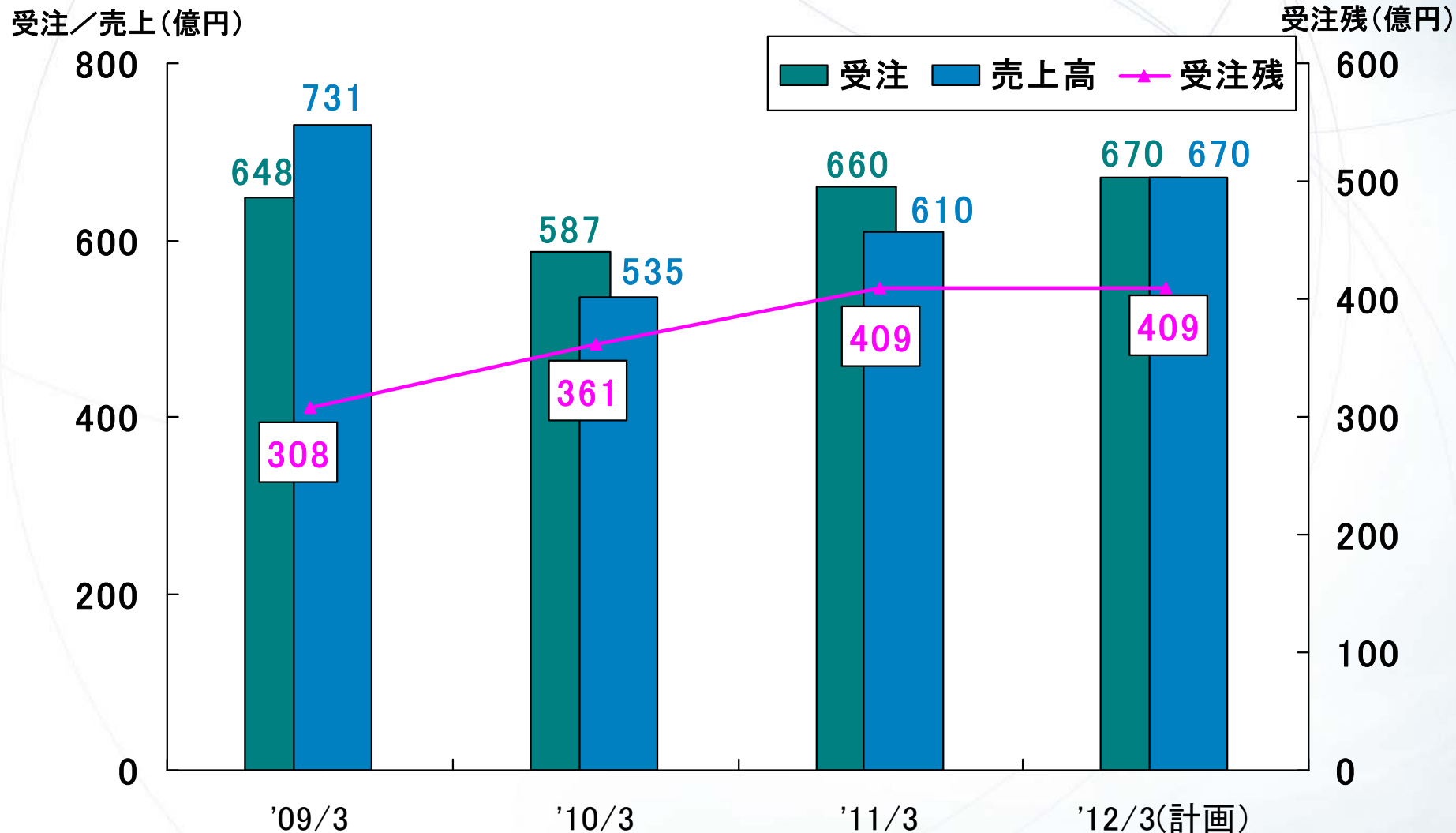


2012年3月期営業利益分析(要因別)

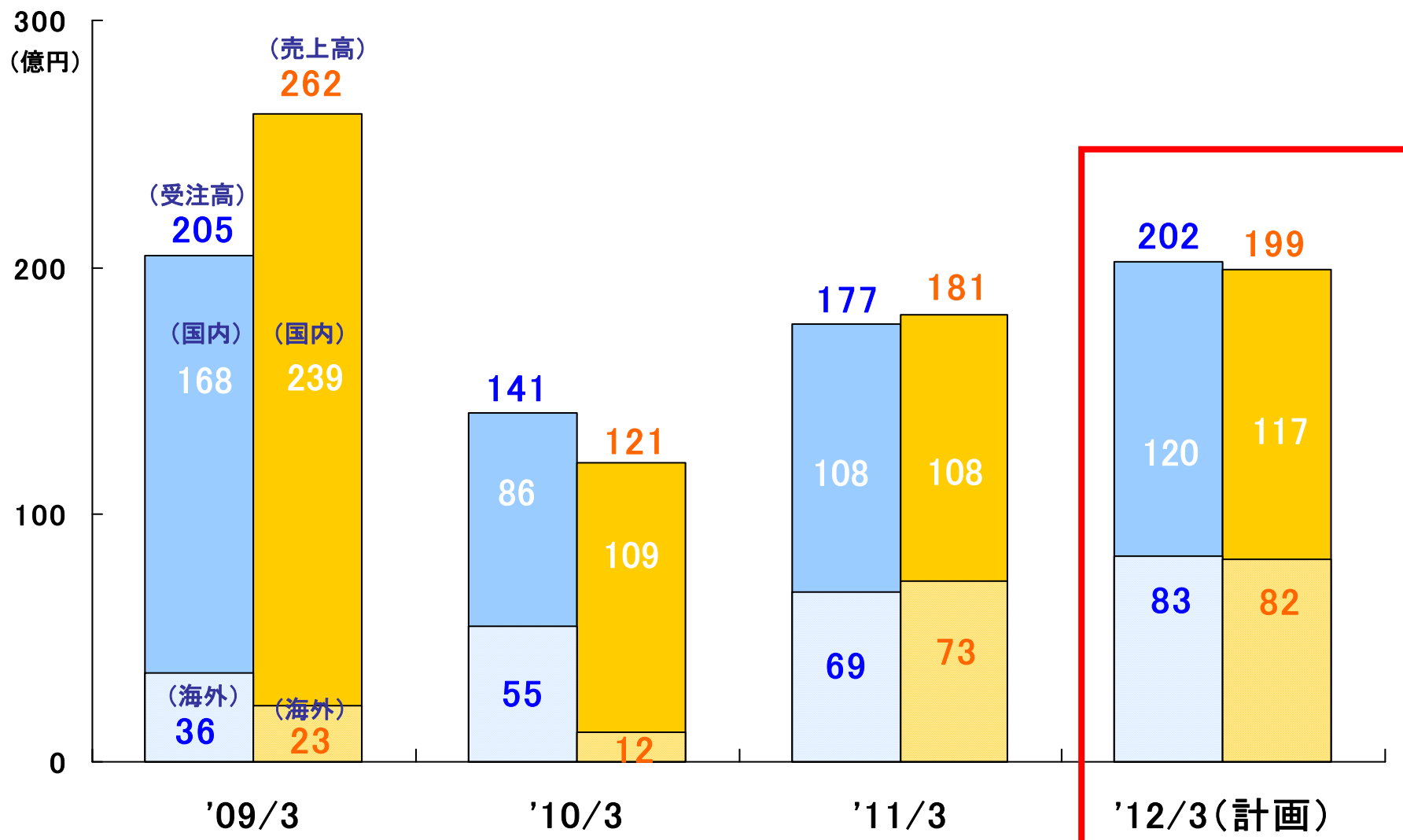
(単位:億円)



受注高・売上高・受注残高推移



電子産業向 受注高／売上高推移



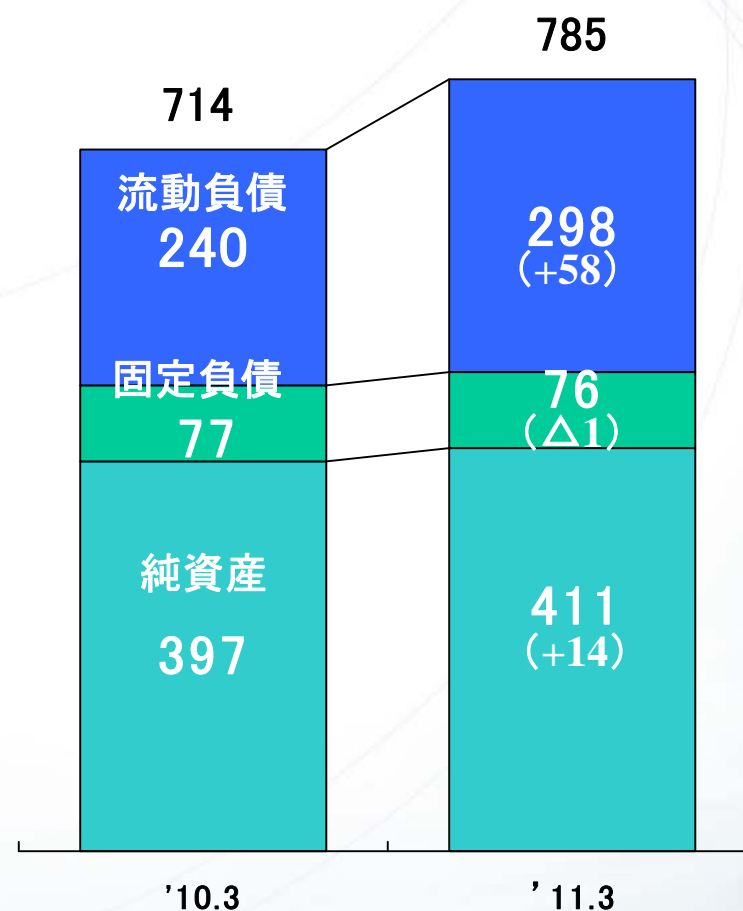
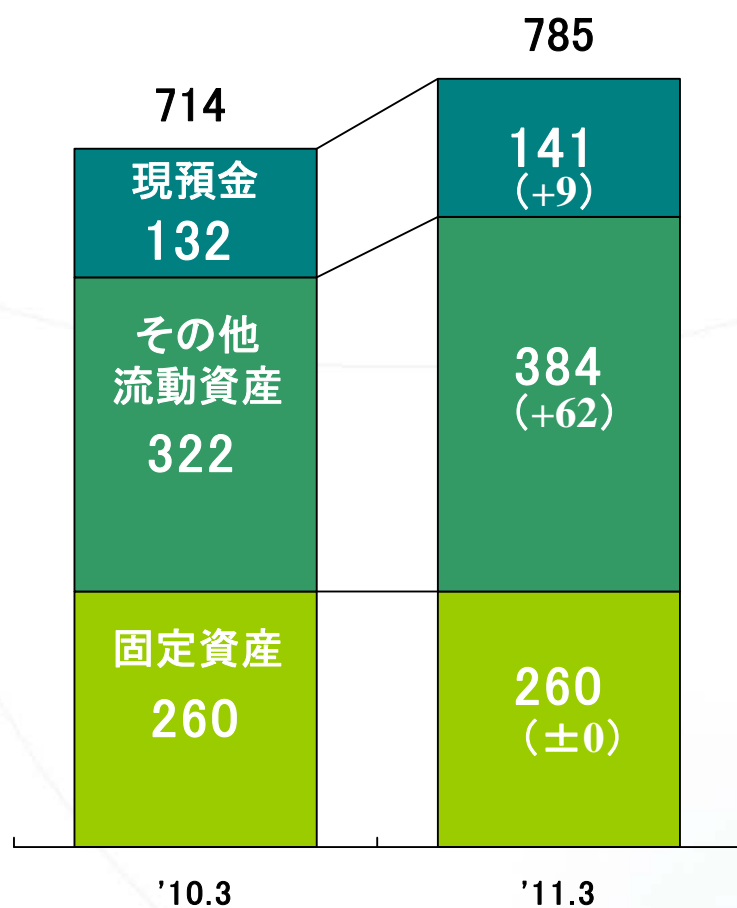
貸借対照表

資産の部

負債・純資産の部

(単位:億円)

(単位:億円)



主な指標

(単位:億円)

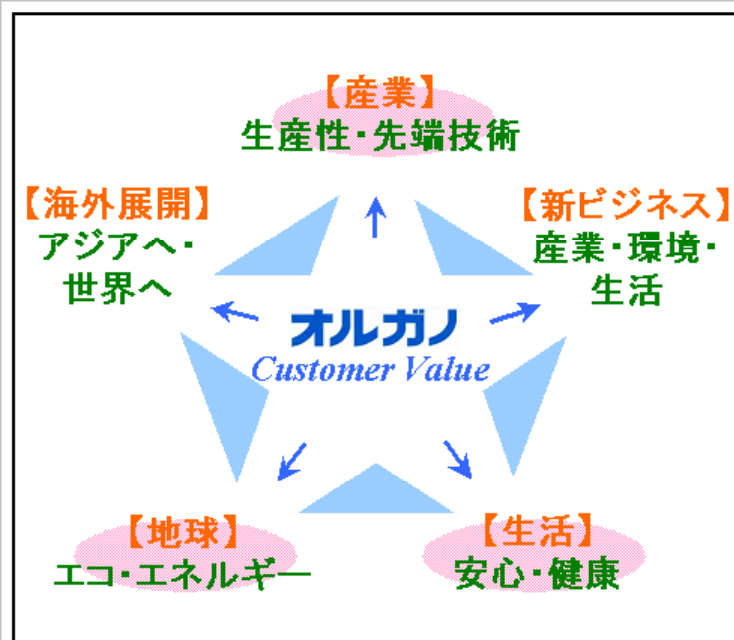
	2011年3月期	2012年3月期(予想)
設備投資額	12	10
技術研究費	17	19
減価償却費	12	12
有利子負債	113	115
従業員数(人)	1,720	1,710
配当金(円)	10/年間配当	12/年間配当

オルガノグループ中期経営方針

代表取締役社長
橋本 喜代志

【企業理念】 “Ecologically Clean”

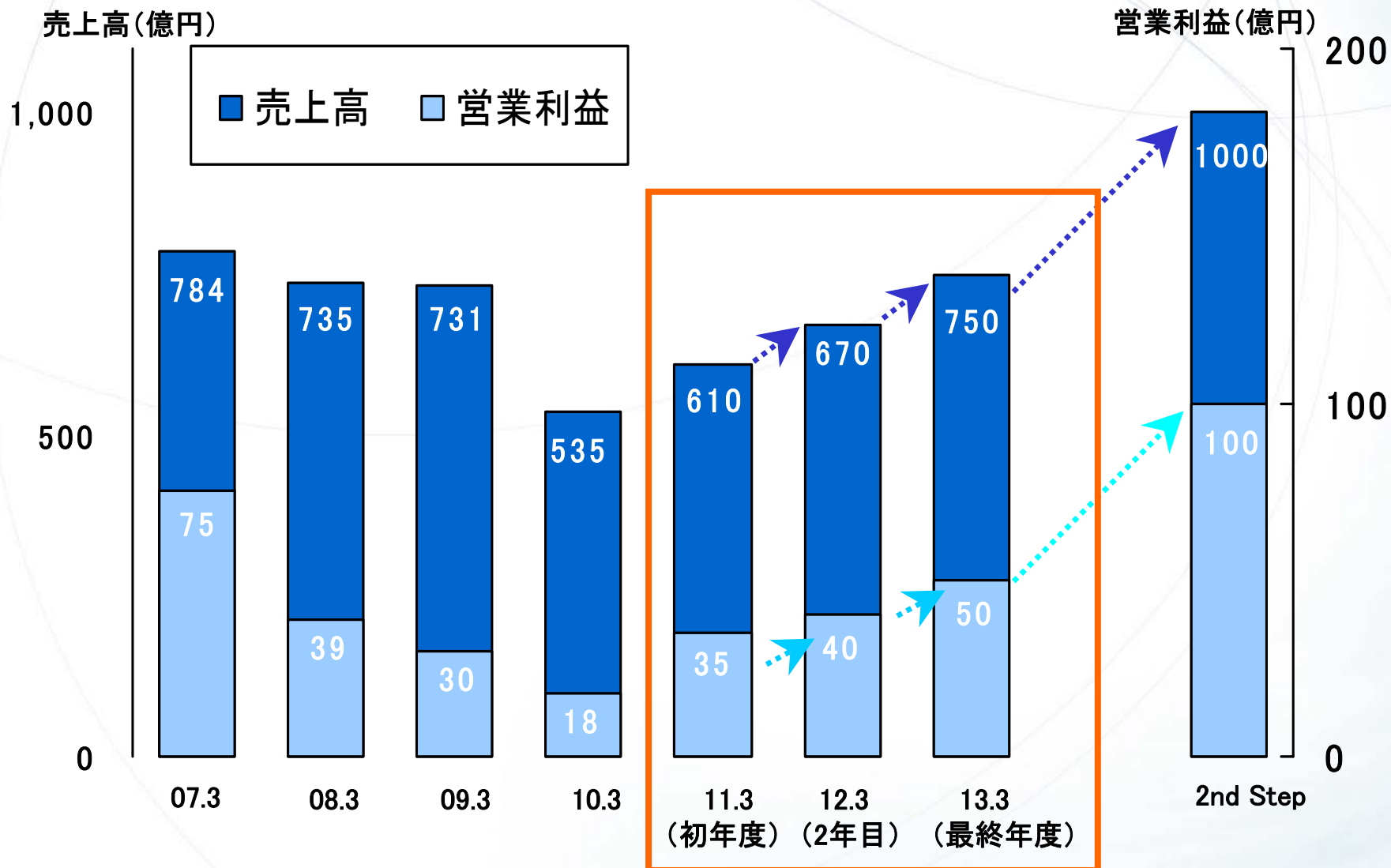
【中期経営ビジョン】 “Customer Value創造企業”



オルガノグループは、提供する製品・技術・サービスを通じ、お客様に貢献することで、人（産業と生活）と地球の未来に貢献する企業を目指す。

市場とお客様に真剣に向き合い、製品・技術・サービスを磨き、お客様のニーズに応えることはもちろん、お客様の価値と満足（Customer Value）を創造する企業を目指す。

連結売上高・営業利益 中期計画



中期経営方針

- ◎ 中期経営計画の初年度計画を達成し2年目へ
 - ・ 市場志向による積極的な拡大を継続
 - ⇒ 更なる地域密着、顧客重視ビジネス
- ◎ 国内・EL・純水ビジネス依存構造から海外・産業全般純水/排水対応型へのシフトを加速
- ◎ 中計最終目標（売上750億円、営業利益50億円）は継続
- ◎ 中計2年目として売上高670億円・営業利益40億円の達成

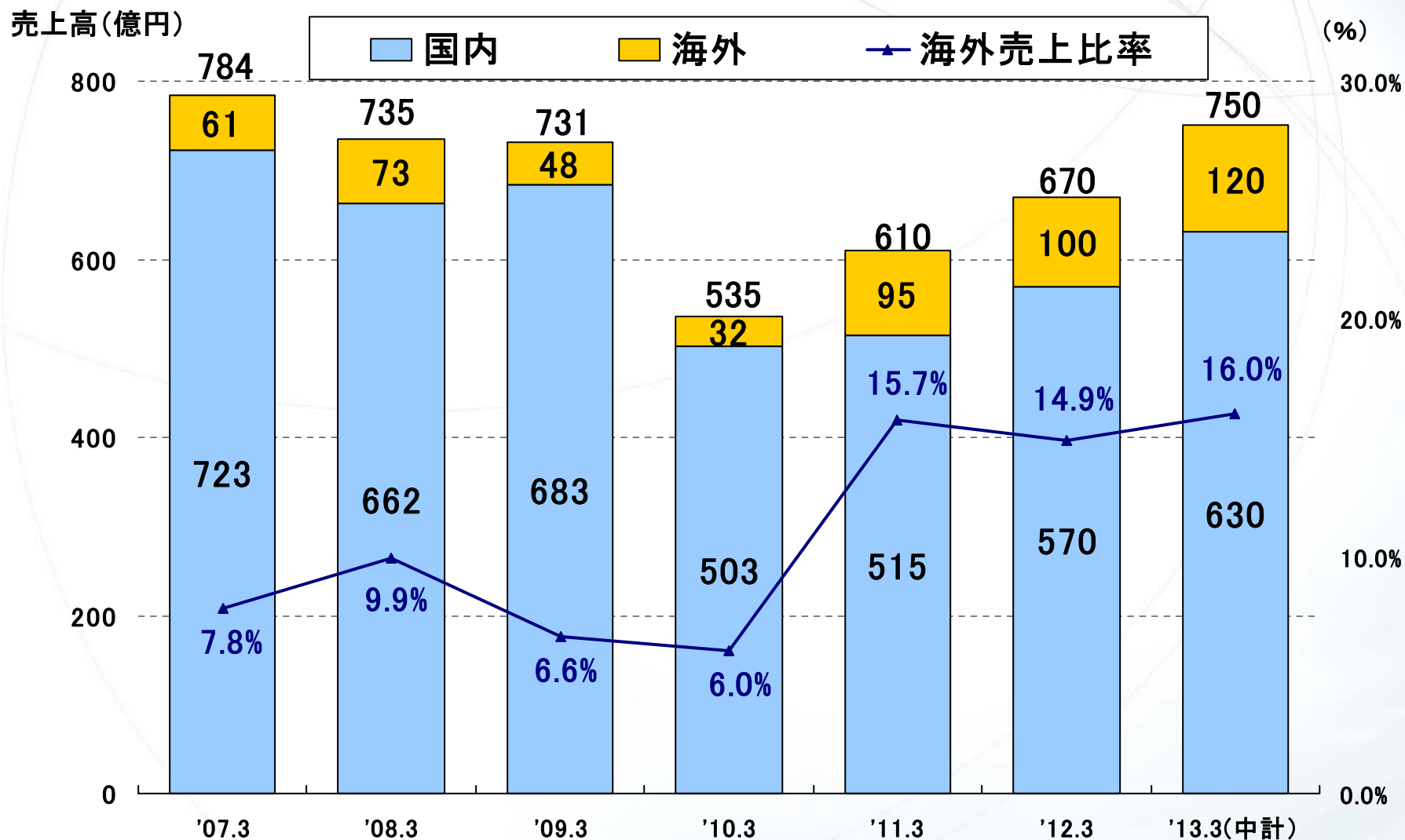
基本方針

1. プラント、ソリューション、機能商品3事業強化
2. 海外部門の強化
3. 経営・事業基盤の強化

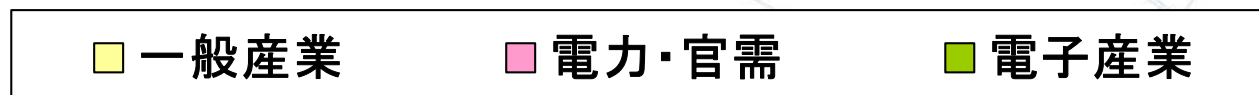
中期経営計画 2010年度実績と2011年度計画

重点施策		2010年度実績	2011年度計画
中期 経営計画	海外市場 拡大	✓ ベトナム現法設立	海外現地法人 高収益体質の構築
		✓ 蘇州研究センター開設	要員のシフト
		✓ 海外トレーニー制度新設	サプライチェーン増強
	国内市場 拡大	✓ ソリューション拠点の拡大	拠点拡大継続
		✓ サービス受託メニュー拡充	サービス要員増強
		✓ オルガノエコテクノ 中・小型排水処理拡販	設備診断による低コスト、 省エネ型装置の拡販
	事業構造 改革	✓ 新事業Gの新設	新分野・新製品発売
		✓ 中・小型新製品発売	機能商品ラインアップ強化
	体質改善	✓ 技術教育科目追加	技術教育・人財育成
		✓ PDCAマネジメントシ ステム導入	システム活用と評価

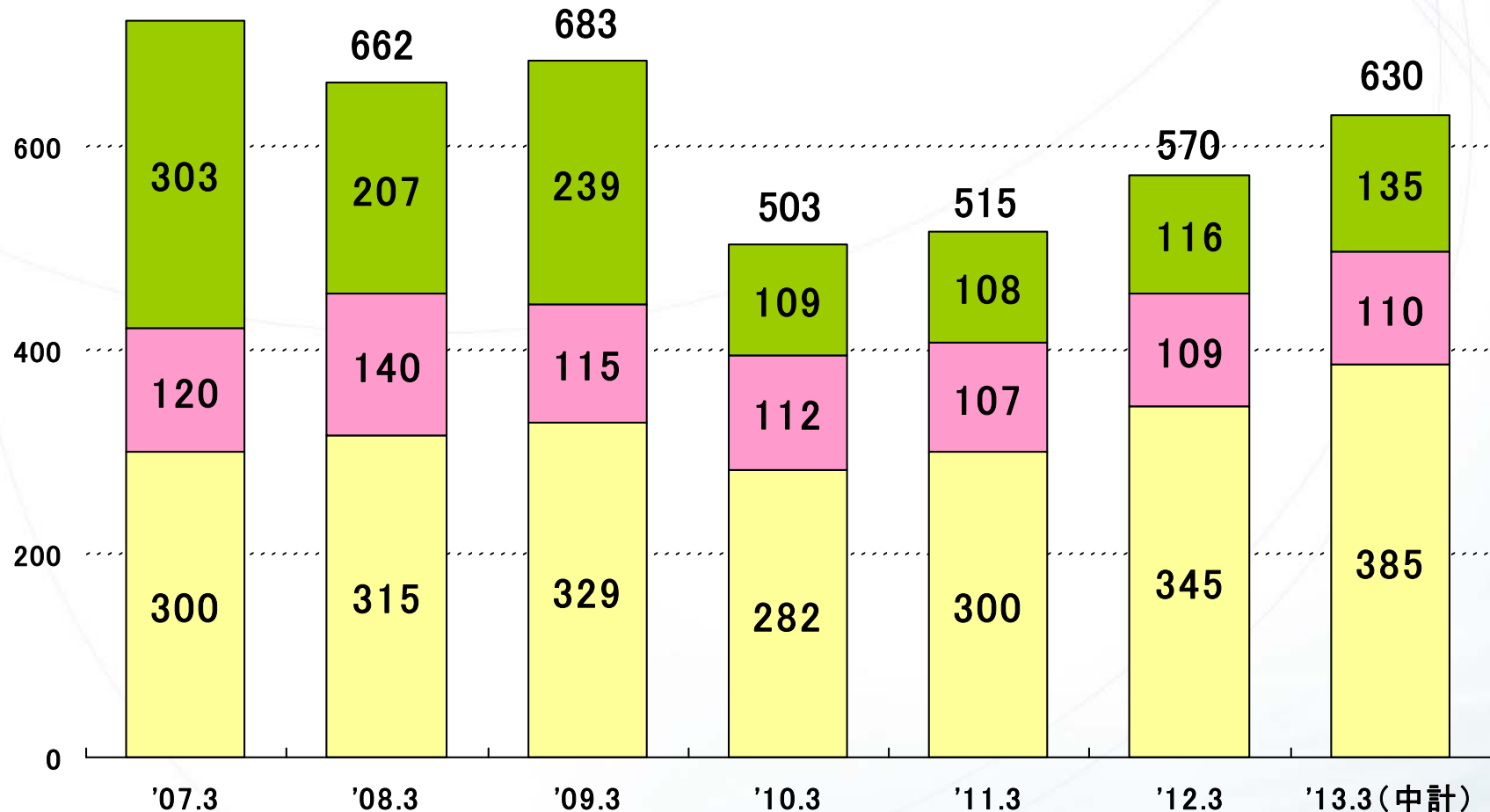
国内・海外別売上高



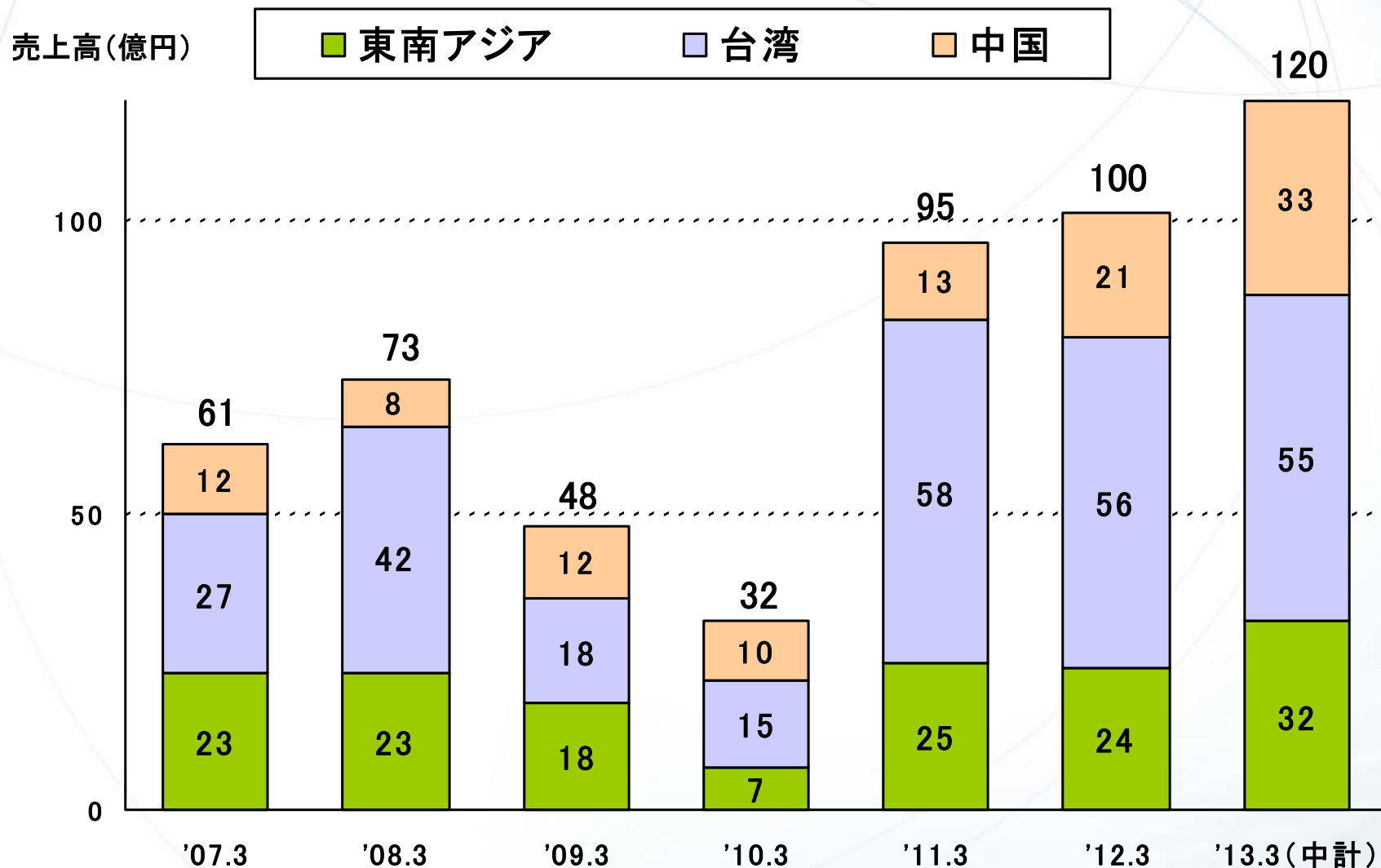
国内顧客別売上高



売上高(億円) 723



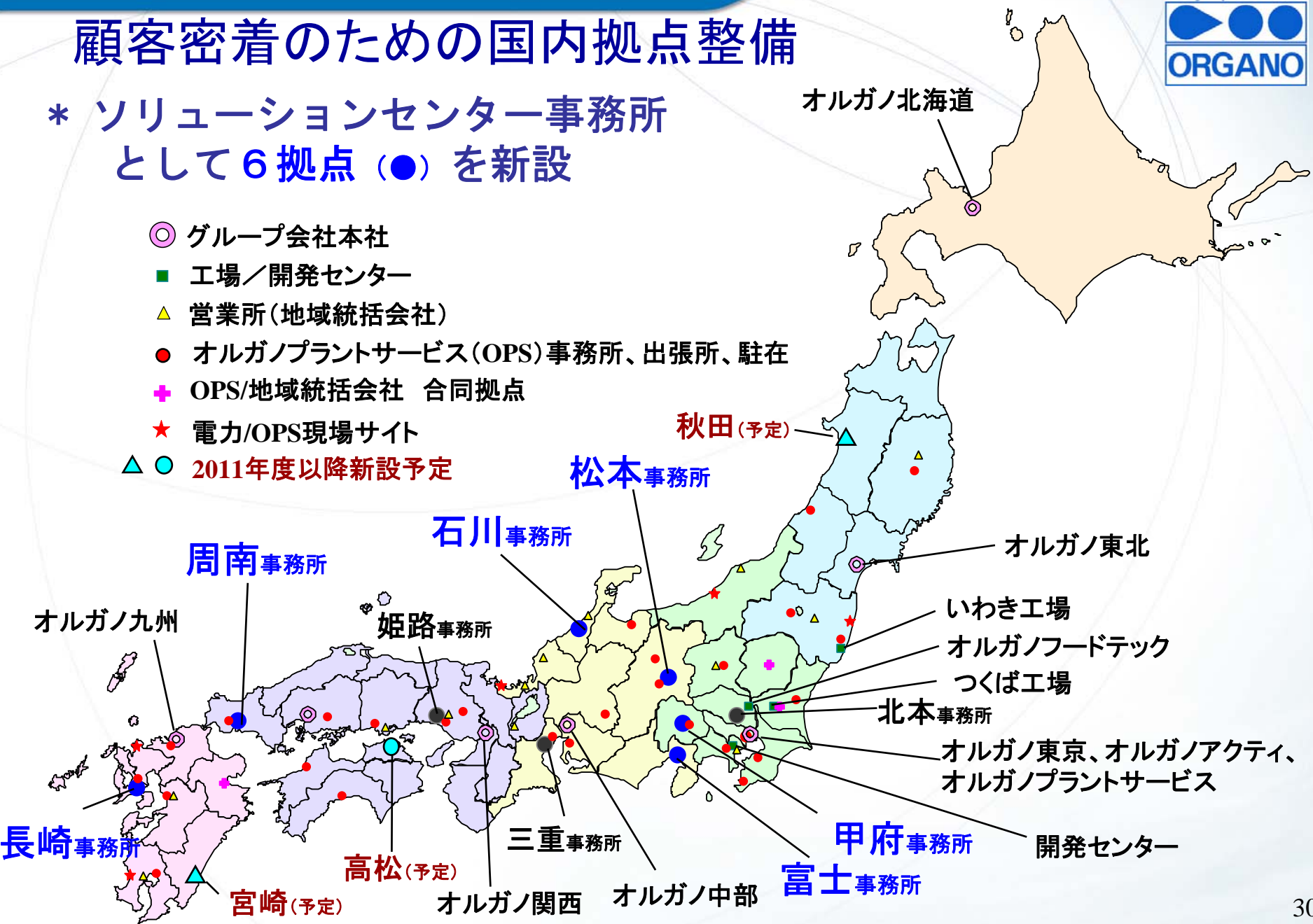
海外 地域別 中期売上計画



顧客密着のための国内拠点整備

* ソリューションセンター事務所
 として6拠点 (●) を新設

- グループ会社本社
- 工場／開発センター
- ▲ 営業所(地域統括会社)
- オルガノプラントサービス(OPS)事務所、出張所、駐在
- ✦ OPS/地域統括会社 合同拠点
- ★ 電力/OPS現場サイト
- ▲ ● 2011年度以降新設予定

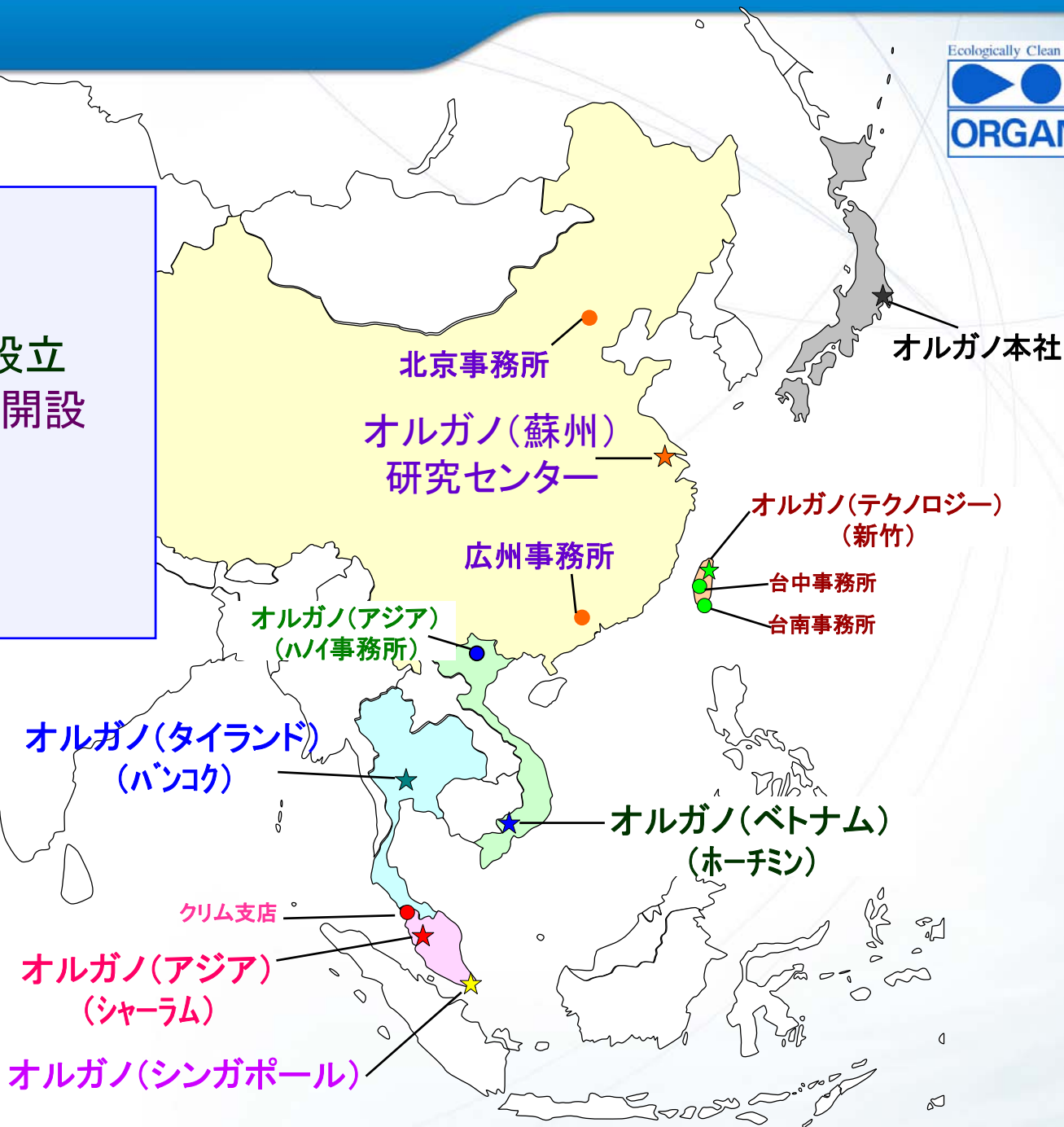


海外拠点の拡充

2010年度

- ・オルガノベトナム設立
- ・蘇州研究センター開設
(オルガノ蘇州内)

- ★ 現地法人拠点
- 支店、事務所



新技術・新商品への取り組み

【資源回収技術】

◆ フッ素再資源化システムエコクリスタ®



電子デバイス、液晶工場へ納入

大型化と使用薬品変更によりコストダウン
国内メモリー工場向けに納入中

【排水処理技術】

◆ 高速窒素処理法(好気グラニュール法)納入

従来比で3~5倍の速度で窒素除去する
省スペース・省コスト型排水処理装置を
国内半導体工場向けに1号機納入

◆ 高速凝集沈殿装置(除濁装置)

高流速処理により省スペース、コンパクト化
製薬工場用水向けなど4機納入

【生活系分野へ】

◆ 住宅用空気清浄装置 エアワッシャー

水の水で空気を洗浄
SOx・NOxや花粉の除去を実現

住宅メーカー等への販売



【機能商品ラインアップの強化】

◆ ラボ向け超純水装置 ピューリックオメガ ・ ピュアラボフレックスUV

微量分析向けのフラッグシップモデルと
ラボ用エントリーモデルを拡充

ピューリックオメガは、4月より上市

新技術・新商品への取り組み

【薬品製造業向け展開】

◆ 日本薬局方の改正にともなう提案

第16改正により、水質項目である導電率とTOCの記録管理が義務化

⇒HPで紹介し、無料出張セミナー開催

改正のポイント、製品、サービスの紹介



ORGANO 人と地球の未来のためにオルガノ/日本製薬協会

HOME 新着情報 採用情報 製品情報 会社情報 サイト内検索

2011年3月の「日本薬局方第16改正」で製薬用水の各条が改正されました

旧来の理化学試験 → 導電率・TOC (薬水・精製水・蒸留水・ピュアスチーム)

改正内容をご存知ですか？

詳しく知りたいお客様のために

日本薬局方第16改正向け
「無料出張セミナー」
開催します！

セミナーは無料で行います。
16改正でお悩みを持つお客様、
この機会に無料出張セミナーをご機
会下さい。

【セミナー内容】

- 日本薬局方第16改正の概要
- 製薬用水各条の改正におけるポイント説明
- お客様に合わせた、最適な製薬用水設備の紹介
- 弊社製品・サービスのご紹介
- 最新設備のご紹介
- 定期メンテナンス
- バリデーション
- コンピューターシステム（リダクション）

詳しく知りたい内容がございましたら、
ご連絡下さい。

【対象のお客様】

- 医薬品・原料・原料中間体・医薬器具・化粧品に
関るお客様

【セミナー開催までの流れ】

01 本ページのフォームよりご連絡

02 弊社担当より日程・場
所・内容確認のご連絡

03 ご指定頂いた場所で、
無料出張セミナー開催

精製水製造装置PWGシリーズ

- ・ 製薬用水専用設計
- ・ 国産自社開発D2EDI搭載

本日はご出席頂きまして
誠にありがとうございました。

(お問合せ先)

オルガノ株式会社

〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8

経営企画部企画グループ(担当 七海)

TEL 03-5635-5111

FAX 03-3699-7240

URL <http://www.organo.co.jp>

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。